

パスファインダーとは？

テーマごとに、学習・研究に役立つ資料や Web サイト、調べ方などをまとめた「探し方の道しるべ」です。
主に学修相談カウンターの支援員（本学院生）が各自の得意分野で作成しています。

テーマ



音楽教育 まずはここから

作成担当／作成日／（必要に応じて）最終更新日

初任期教員養成コースⅠ回生/2025年12月作成

イントロダクション

音楽教育とは音楽をつくる営みの共有と伝承を通して個人を社会化し、また個人を社会に位置づけるとともに社会を変容していく実践です。（中略）「音楽をつくる営み」とは、作曲や演奏だけではなく、音楽を聴くことや、音楽と共に身体表現をすること、また音楽について考えたりすることなども含む、人間が音楽をする行為全体を指します。

小川昌文「音楽教育とは何か」（『よくわかる音楽教育学』、ミネルヴァ書房、2023年）p32 より

入門書

No.『資料タイトル』

著者名、出版社、出版年。

<配置場所、請求記号、資料ID>

→支援員からのコメント

Ⅰ.『教育音楽』シリーズ

音楽之友社

<和雑誌 西書庫3階、新着雑誌 南館1階>

→私が卒論の時に参考にしたシリーズ雑誌です。実践がたっぷり紹介されているほか、現場の先生の声もたくさん載っています。授業についての疑問点はほぼ解決すること間違いナシ！

2. 『音楽科教育』

加藤富美子編著；橋本美保，田中智志監修、一芸社、2015年。

<開架 西館2階、375.76||KA 86、9151053700>

→少し古い本ですが、なぜ学校で音楽という教科があるのか、そもそも音楽を学ぶ意義とは何かについて書かれています。読みやすく初心者さんにもおすすめの一冊です！

専門書(さらに詳しく知りたい方へ)

1. 『よくわかる音楽教育学』

小川昌文[ほか]編著、ミネルヴァ書房、2023年。

<開架 西館2階、375.76||O 24、9231010308>

→この本はグローバルな視点から音楽教育を捉えている点が特徴的です。さらには音楽教育史や授業の実践例、音楽教材などのコラムが充実していて、読み進めるほどに新しい発見が生まれる一冊です！

2. 『初等音楽科教育』

笹野恵理子編著、ミネルヴァ書房、2018年。

<開架 西館2階、375.762||SA 76、9181061601>

→編著者は京都教育大学卒業、執筆者には京都教育大学の教授が数名いらっしゃいます。第Ⅱ部では、授業づくりについて丁寧に検討されていて、「歌唱」「器楽」「音楽づくり」「鑑賞」の4つの活動それぞれについて詳しく知りたい…そんな方におすすめです！

Web サイト

1. 『音楽授業情報サイト 明日の音楽室』 明日の音楽室

<https://www.ashitano-ongakushitsu.com/>

→教育実践例や教材、Web アプリの紹介などの紹介がされています、授業づくりのヒントにも！

2. 『日本音楽教育学会 - Japan Music Education Society』 日本音楽教育学会

<https://xn--6oqq3lakwh8pa94cx0fi79cv40b.com/>

→音楽教育全般に渡る、日本を代表する研究学会です。学会大会の案内(過去のものもYouTubeで見られる)や学会誌、学会による調査報告などが載っています。卒論の参考にぜひ！

3. 『日本学校音楽教育実践学会』 日本学校音楽教育実践学会

<http://jassmep.g2.xrea.com/>

→「学校教育」「音楽科教育」「教育実践」をキーワードに研究している学会です。書籍や学会機関誌の紹介がされています。少し難しいものですが、刊行物のいくつかは本学の図書館や論文検索サイトにも掲載されています。

資料を探すときのキーワードの一例

音楽科教育、音楽教育、音楽教育学、小学校音楽、音楽

※2語以上からなるキーワードは、間にスペースを入れると検索結果が異なってきます。

